

UI実装におけるコーディングあれこれ



簡単に自己紹介

自己紹介

- 名前：長谷川広武 (@h2ham)
- 札幌でWeb制作をする26歳♂
- 昨年パパに！ 娘とチビと3人で生活
- 大学まではWebとは無関係に臨床心理学専攻

Blog

THE HAM MEDIA

h2ham.seesaa.net

jQueryやコーディング
関連のTipsについて
掲載しています。

The screenshot shows a blog post on the website 'THE HAM MEDIA'. The page title is '親要素のみ削除する方法 [jQuery1.4系版]'. The main content area displays a code example for removing a parent element using jQuery. The code is shown in a black box with white text: `テキスト` followed by a downward arrow and the text '親要素だけ削除する方法', and then `テキスト`. Below the code, there is a paragraph of Japanese text explaining the context of the tip. A '続きを読む' (Read more) button is visible. The right sidebar contains navigation links like 'ブログ内を検索', 'RSS', and 'Follow me on twitter', along with a '最近のコメント' (Recent comments) section.

This block shows the continuation of the blog post from the previous screenshot. It includes the bottom part of the main content area with a '続きを読む' (Read more) button. The right sidebar continues with the '最近のコメント' (Recent comments) section, showing a comment from 'by Yokokawa (04/06)'. The footer area is partially visible at the bottom.

自己紹介

- 株式会社24-7所属
- Webディレクター
- 現在のメインは運用系（サイトの更新案件）



www.24-7.co.jp

技術評論社にて 徳田さんと

**もっと便利に！jQueryで
ラクラクサイト制作（実践サンプル付き）**

**[http://gihyo.jp/design/serial/
01/jquery-site-production](http://gihyo.jp/design/serial/01/jquery-site-production)**

SaCSS

- 札幌で、主にコーダーを対象とした、勉強会を毎月開催しています。
- 勉強会名：SaCSS



本セッションの予定

- コーディングから参加するUI設計
- 制作実例から学ぶ
- 失敗談から学ぶ
- ちょっとした工夫
- まとめ

コーディングから参加するUI設計

コーディングから参加？

- デザインはすでにできている状態で
「この機能JavaScriptでできる？」
「こんな機能欲しいんだけど？」

という相談を受けることはありませんか？

Σ(°∀°;) コナンカ行デ!?

コーディングから参加？

デザインに対して、
➡ どのような仕組みを導入したら
使いやすくなるか。

実装前に決めておくこと

- 動作
 - アニメーション、実行のタイミングなど
- JavaScript OFF時へ対応
- 対象ブラウザ
- 操作する部分のCSSを直接CSSに書いておくか、JavaScriptで追加か



制作実例から学ぶ

工夫事例

フォームの入力確認

多くの場合：フォームの入力

名前： 長谷川 広武 |

確認

多くの場合： 入力の確認

名前： 長谷川 広武

決定

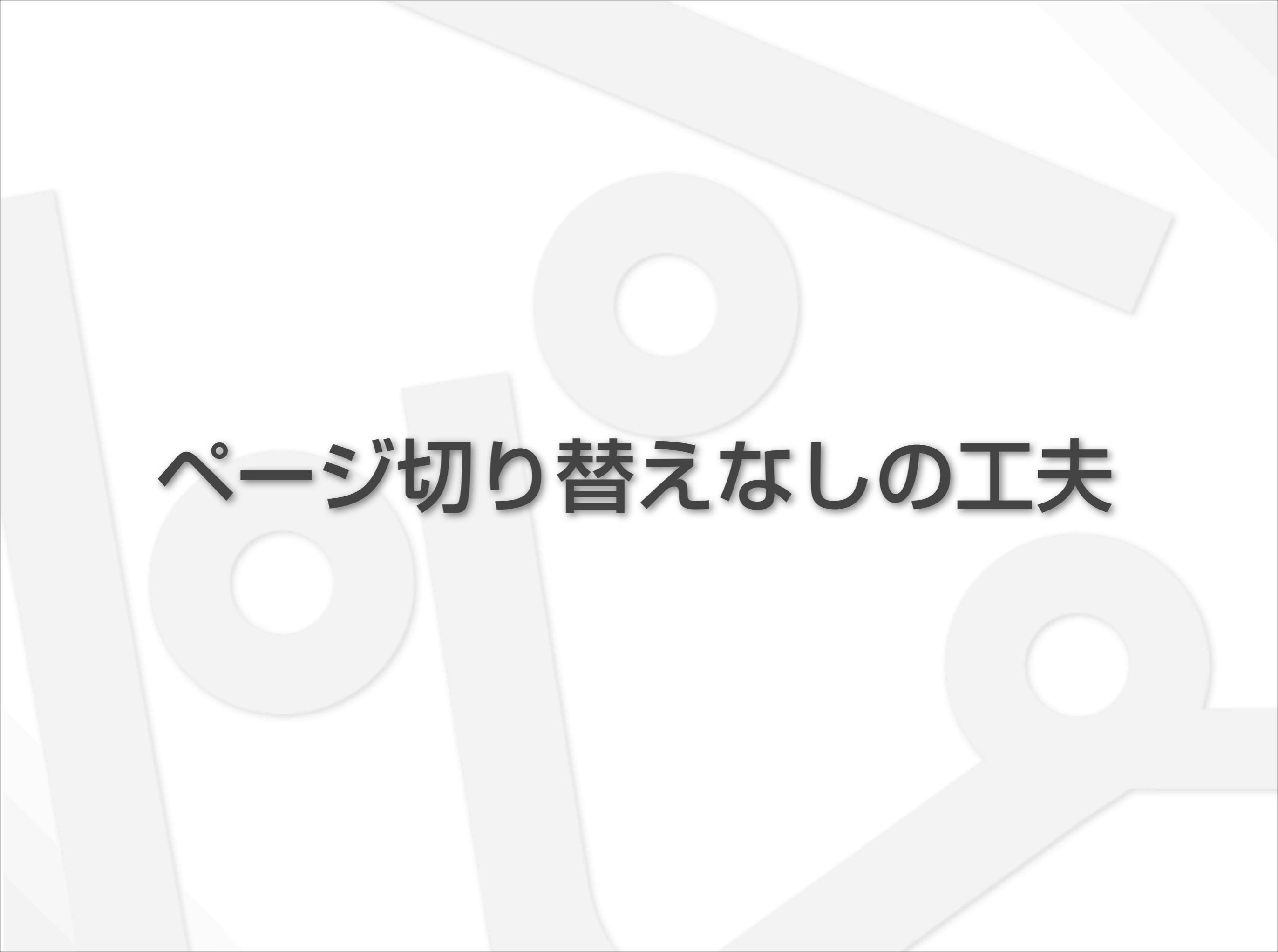
修正

多くの場合： 入力の確認

名前： 長谷川 広武

修正の場合

決定 修正
前のページに戻るのが手間



ページ切り替えなしの工夫

工夫：その1

確認モーダルウィンドウ

工夫版：フォームの入力

名前： 長谷川 広武 |

確認

工夫版：入力の確認

名前： 長谷川 広武

決定

修正

修正があればそのまま入力へ

名前： 長谷川 広__|

確認

修正があればそのまま入力へ

名前： 長谷川 広__|

前のページに戻る手間が省ける
確認



同様の例として

工夫版2：入力の確認

※修正の場合修正箇所をクリック

名前： 長谷川 広武

決定

工夫版2：入力の確認

※修正の場合修正箇所をクリック

名前： 長谷川 広_ |

確認

工夫版2：入力の確認

※修正の場合修正箇所をクリック

名前：

長谷川 広

その場編集

確認

(edit in places)

フォームの入力確認の工夫

- フォーム入力修正の際の
「前のページに戻る」をなくすことで
修正をしやすいうようにする
- ページを進んだり戻ったりの
少し面倒な動作をしなくて済むようになる

工夫したけど失敗した事例

タブとナビゲーションの連動

タブ連動ナビ

カテゴリ

タブA

タブB

タブC

タブA

タブB

タブC

タブ連動ナビ

カテゴリ

タブA

タブB

タブC

タブA

タブB

タブC

タブ連動ナビ

どこが失敗???

カテゴリ

タブA

タブB

タブC

タブとナビが連動できりかわる

タブ連動ナビ

カテゴリ

タブA

タブB

タブC

タブA ナビの表示が問題だった

問題のナビ

他のページ

カテゴリ

カテゴリ

カテゴリ

タブのページ意外は

タブ名のサブカテゴリ名が

表示されていない

問題のナビ

他のページ

カテゴリ

カテゴリ

カテゴリ

タブのページ意外は

連動しなくとも

タブ名のサブカテゴリ名が

タブだけで十分

表示されていない

問題のナビ

他のページ

機能があってもいいけど

なくとも特別便利になっていない

再び
工夫事例

タブ型の縦長コンテンツの
下に配置したタブ連動ボタン

タブが縦長

タブA

タブB

タブC

タブが縦長

タブA

タブB

タブC

コンテンツの内容が多く
縦スクロールも必要なタブ

タブが縦長

タブA

タブB

タブC

複数のタブ内を見たい場合

上に戻ってタブの切り替えが必要

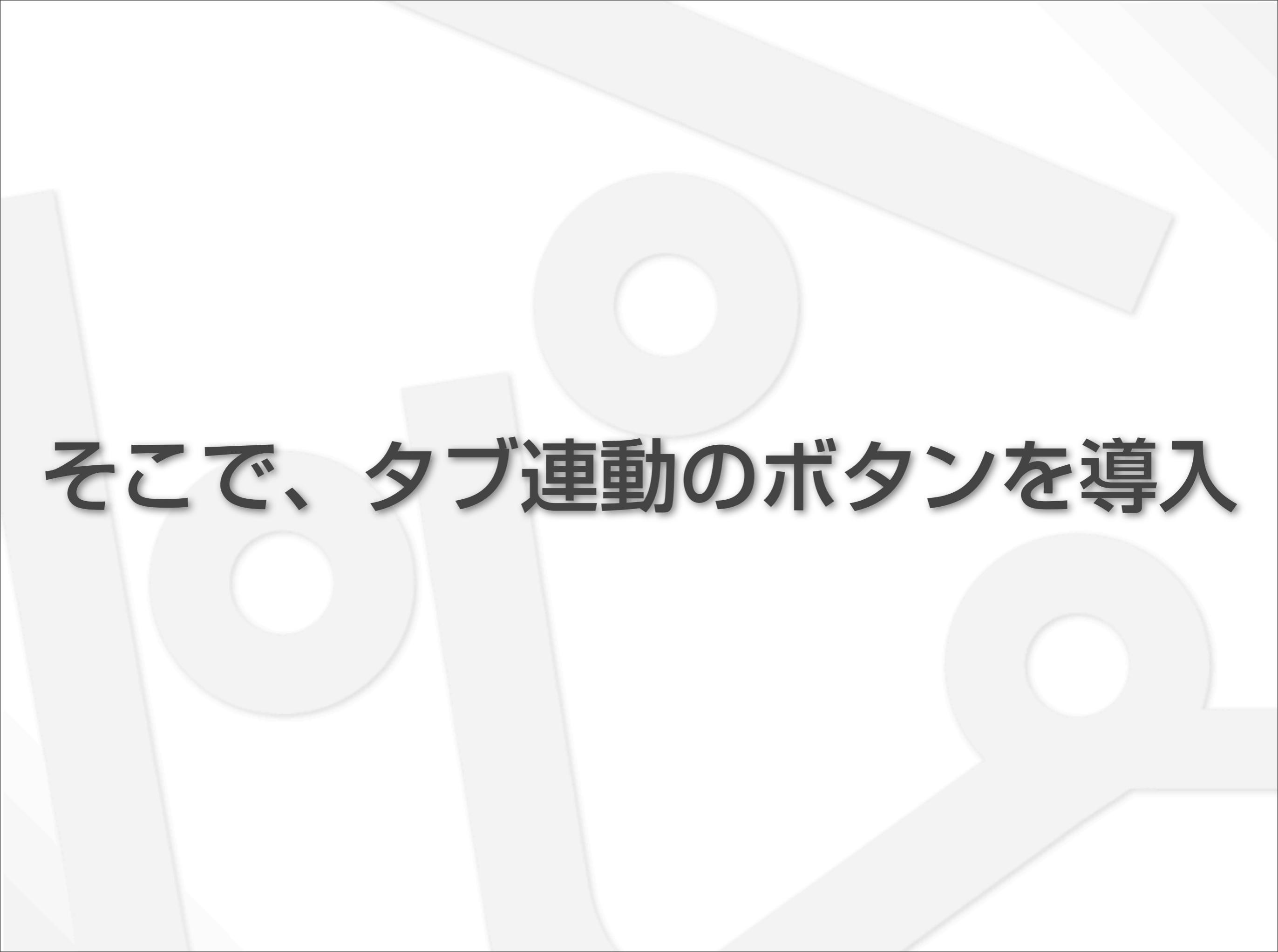
タブが縦長

タブA

タブB

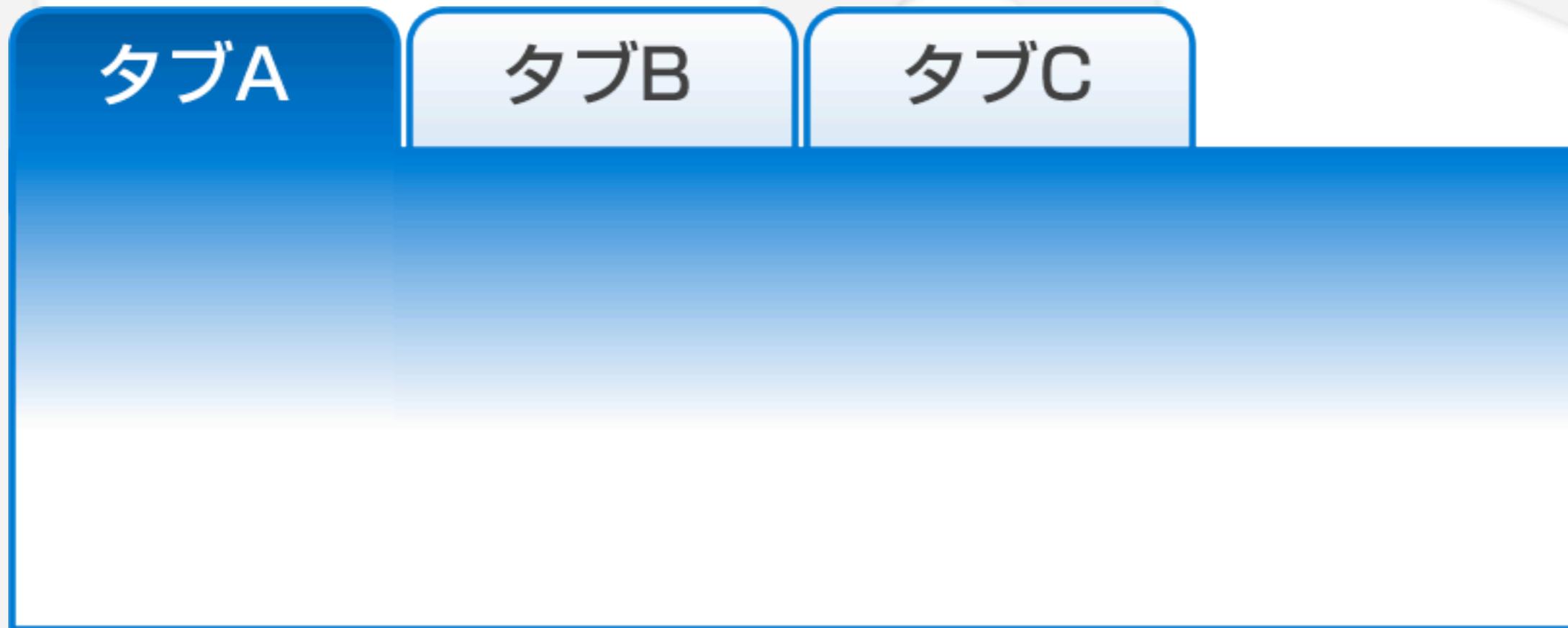
タブC

ちょっと使いづらい
タブにしなくても・・・

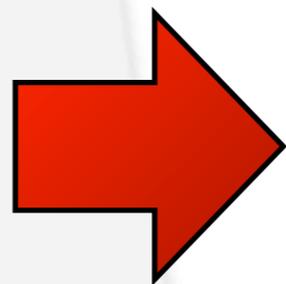


そこで、タブ連動のボタンを導入

縦長コンテンツ下にボタン



クリックで
タブ切り替えと
上部へスクロール



タブB

縦長コンテンツ下にボタン

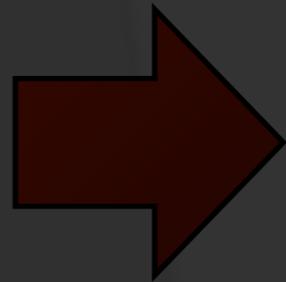
タブA

タブB

タブC

ユーザーの手間を少しはぶけた！

クリックで
タブ切り替えと
上部へスクロール



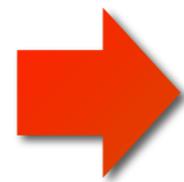
タブB

工夫事例 3

透明度を利用したロールオーバー

透明度を利用

CSS ROLLOVER



CSS ROLLOVER

どんな時に便利？

- デザイナーから送られてきたデザインに
ロールオーバーの画像がない！
- 画像を作成する時間、考えている余裕がない
- 写真利用などの場合、替えがない
- ロゴなどの加工が許可されていない ...etc.

そんなときに、かわりに使える

参照サイト

THE HAM MEDIA

『透明度を利用したロールオーバープラグイン「jquery-opacity-rollovar.js」を使いやすくしてみた』

<http://h2ham.seesaa.net/article/124030086.html>

サンプルコード

[demo](#)

```
jQuery(function($){  
    $('.over').opOver();  
    $('.wink').wink();  
    $('.over2').opOver(0.6,1.0);  
});
```

失敗談から学ぶ



テストと本番の差

利用したJavaScript

- heightLine.js

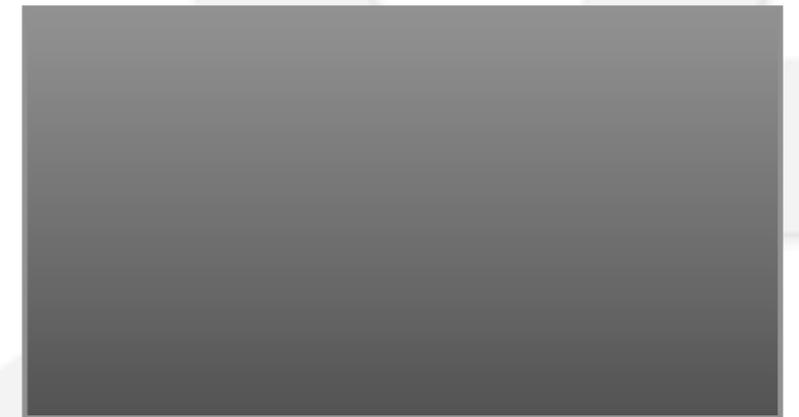
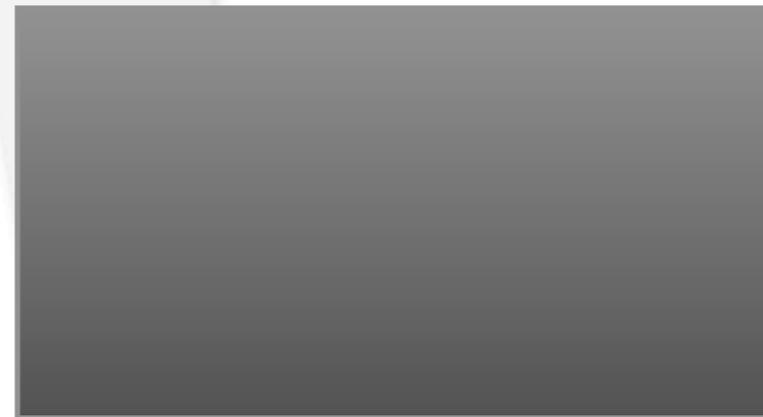
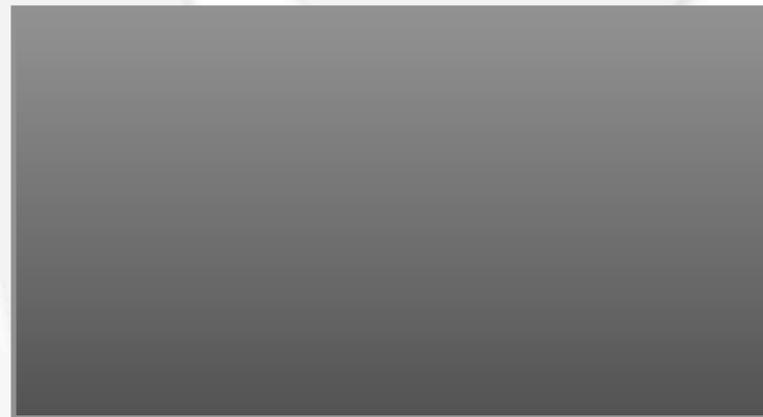
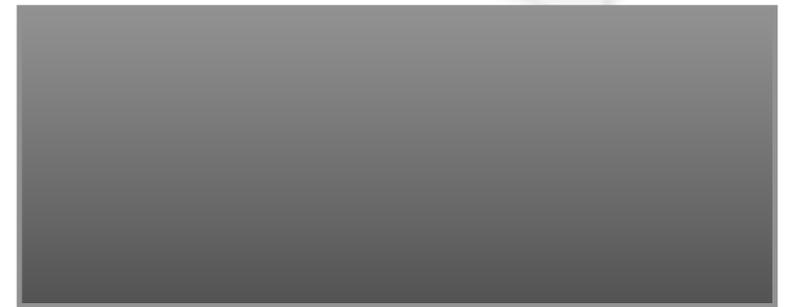
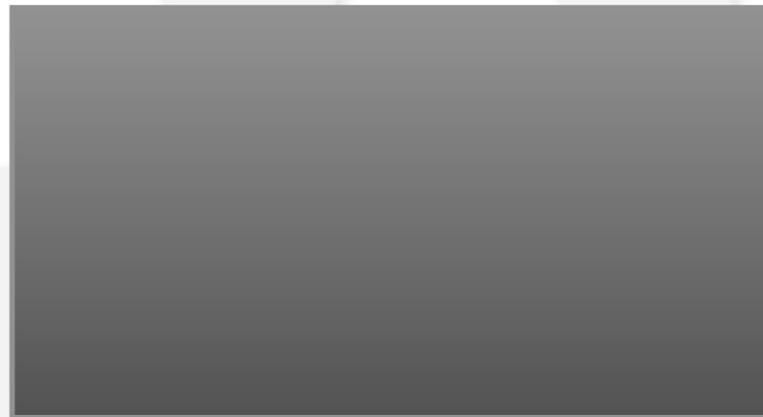
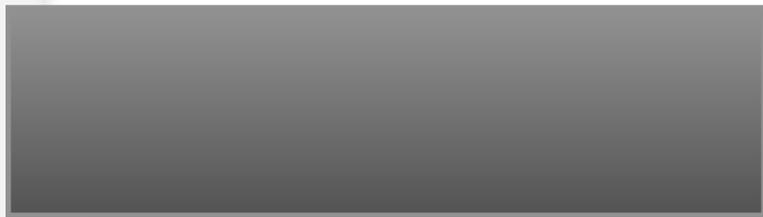
[[http://blog.webcreativepark.net/](http://blog.webcreativepark.net/2007/07/26-010338.html)

2007/07/26-010338.html]

- 指定した同一名グループの高さを揃える

利用したJavaScript

- heightLine.js



発生した問題と原因

- テスト段階で作成した商品数(ダミー)と、
本番での商品数に大幅な差

発生した問題と原因

- テスト段階で作成した商品数(ザミー)と、
本番での商品数に大幅な差
おおよそ10倍でした

そりゃ重いよ・・・

発生した問題と原因

- 高さを揃える部分が膨大になったため、ページをひらくまでに30秒～1分
- IE6だとフリーズして動かなくなる

解決策

【解決策】

- 一度に適用する量を減らす
 - 実行するタイミングをずらして量を減らす
- 仕組みを変更
 - 全要素ではなく必要箇所のみ

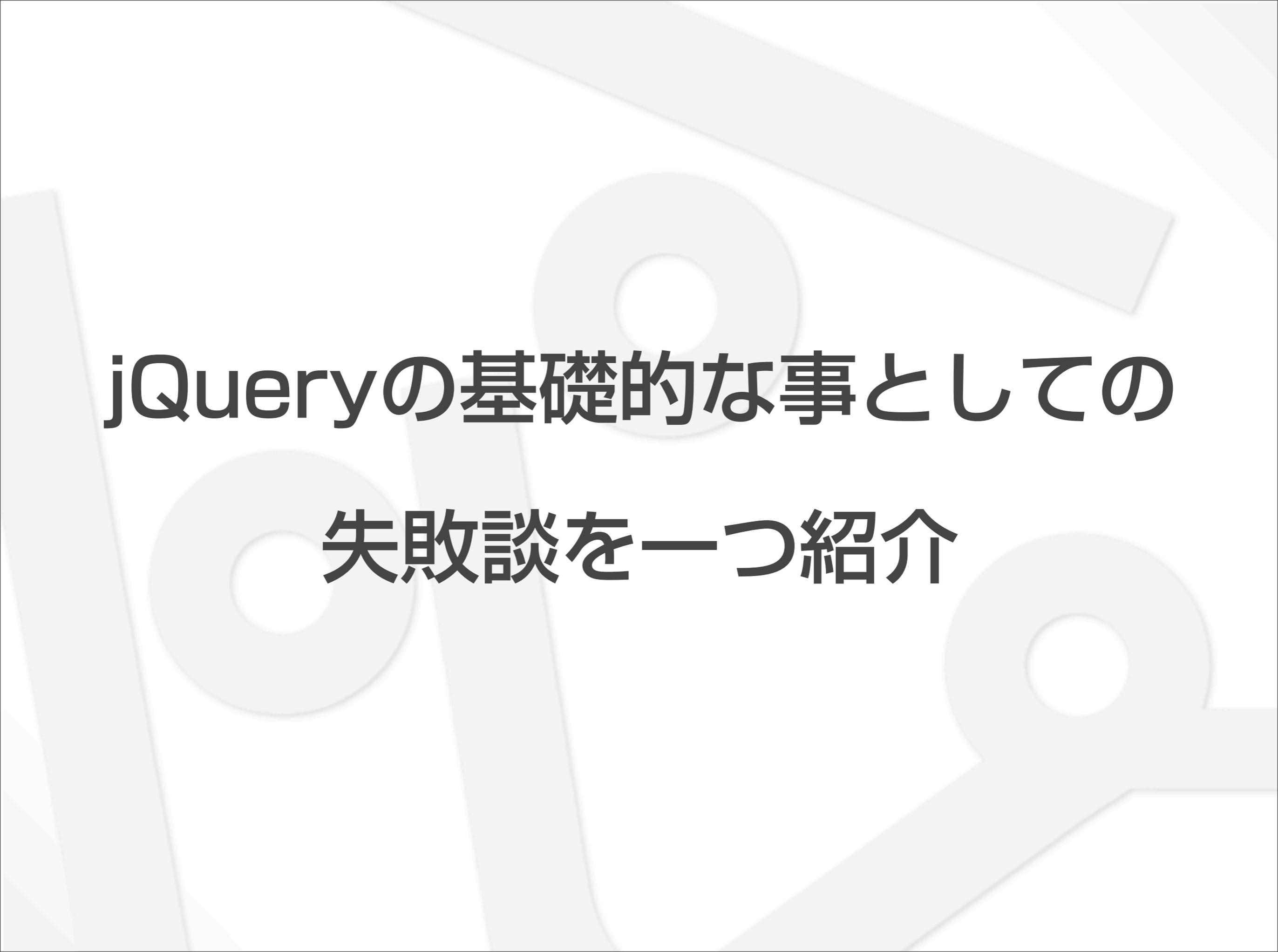
解決策

【解決策】

- 一度に適用する量を減らす
いかに本番環境（状態）を
→ 実行するタイミングをずらして量を減らす
- 想定と確認をして作成できるか
→ 余要素ではなく必要箇所のみ
(特にシステムが絡む場合)

プラグインではないけど
かかわることとして

子要素にもイベントが！？



jQueryの基礎的な事としての 失敗談を一つ紹介

HTML

```
<ul id="hoge">
```

```
<li>親要素でクリックで動作する部分
```

```
<ul>
```

```
<li>クリックしても動作しない</li>
```

```
<li>クリックしても動作しない</li>
```

```
</ul>
```

```
</li>
```

```
</ul>
```

子要素にも！？

```
$( ' li ' ).click(function(){  
    -----  
});
```

liタグ全てにイベントがついてしまう

親要素のみに

```
$( ' ul#hoge > li ' ).click(function(){  
    -----  
});
```

内容の要素ではイベントが発生しないように…？

親要素のみに

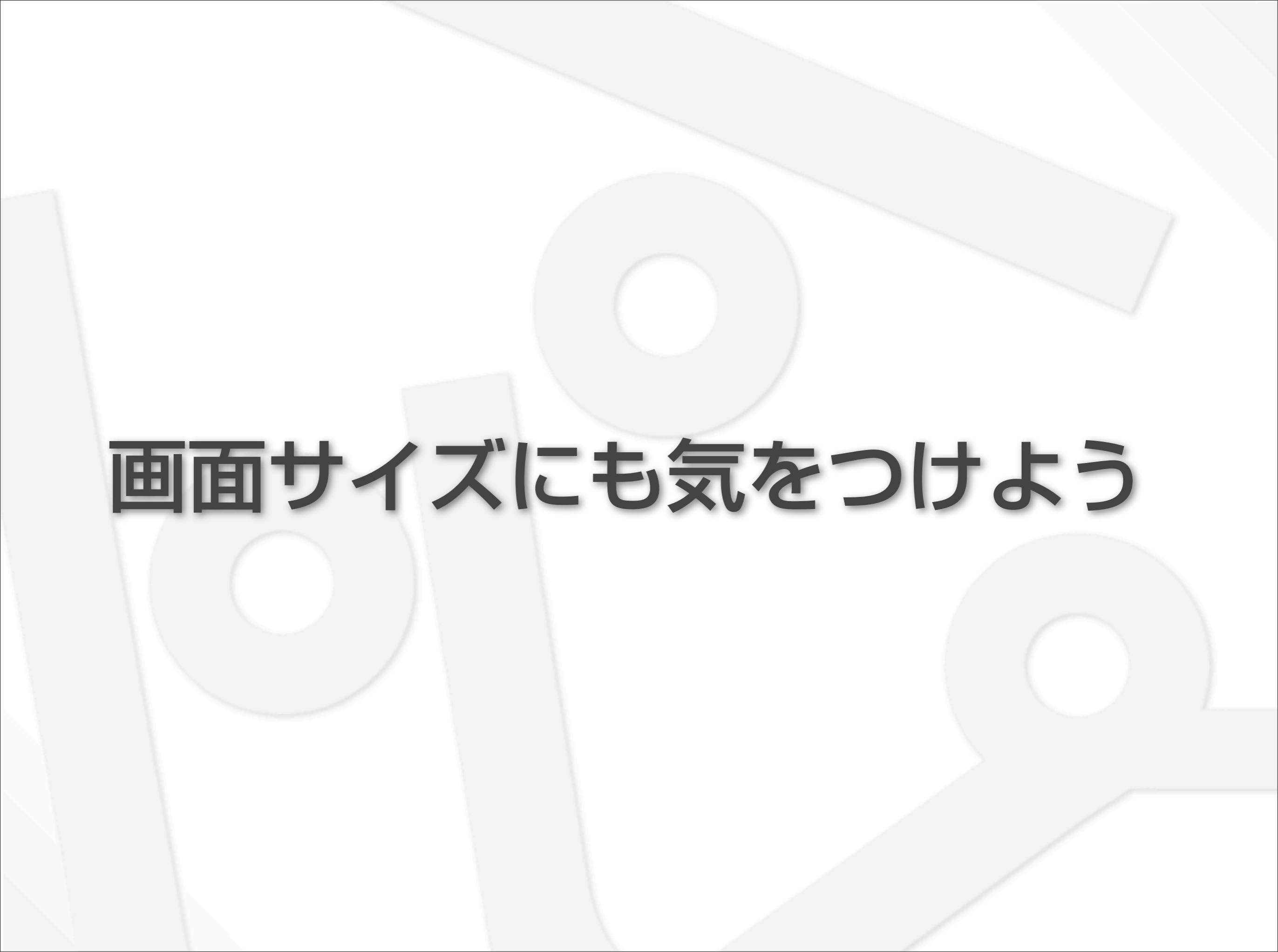
```
$( ' ul#hoge > li ' ).click(function(){
```

プラグインの利用でも

```
});
```

気をつけて！

内容の要素ではイベントが発生しないように



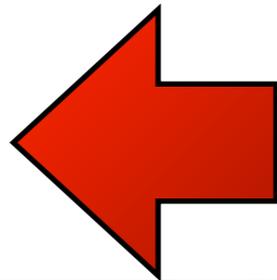
画面サイズにも気をつけよう

画面を超えると

[demo](#)



- ▶ 概要
- ▶ 開催の背景
- ▶ セッション概要と
出演者のプロフィール
- ▶ 参加費とお申し込み
- ▶ タイムテーブル



このままどんどん下までスクロール

画面を超えると



- 概要
- 開催の背景
- セッション概要と
出演者のプロフィール
- 参加費とお申し込み
- タイムテーブル

ネットブックなど

小さい画面の時に発生

このままどんどん下までスクロール

画面を超えると



位置を固定した

- 概要
- 開催の背景
- セッション概要と
出演者プロフィール
- 参加費とお申し込み
- タイムテーブル

モーターウィンドウなんかも

下が見れなくなっているときも

解決策1

- 画面サイズを超えた場合はスクロール表示

解決策2

[demo](#)

- もしくは画面サイズにあわせてリサイズ
例：Thickbox



ちよつとした工夫



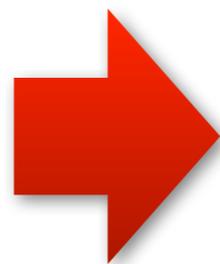
例 1 : 開閉パネルに工夫

例：開閉パネル

開閉コンテンツ



開閉コンテンツ



例：開閉パネル

開閉コンテンツ

問題はここから

開閉コンテンツ

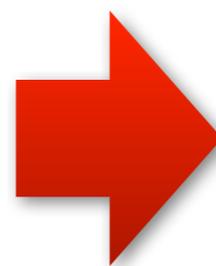


リロードしてみる

例：開閉パネル

リロード後

開閉コンテンツ



開閉コンテンツ



例：開閉パネル

リロード後
リロード後

開閉コンテンツ



開閉コンテンツ



せっかく閉じ設定したのに

もとに戻ってしまう



同様の例として

類似例 1

- 大中小のフォントサイズ変更

小 中 大

類似例2

- 上下位置変更

コンテンツA



コンテンツB



コンテンツC



コンテンツの
上下の位置を
変更できる

類似例2

- 上下位置変更

コンテンツA
コンテンツB
コンテンツC

2度目の訪問時は
設定した状態であってほしい

コンテンツの
上下の位置を
変更できる

ポイント

UIの変更可能なコンテンツは
状態の保持機能を

例2：Ajaxコンテンツに工夫

Ajaxコンテンツに工夫

新着情報

タイトル

タイトル

タイトル

タイトル

新着情報

↑ 読み込みが遅いと中身が表示されない状態が続く

Ajaxコンテンツに工夫

新着情報

タイトル

タイトル

タイトル

タイトル

新着情報

表示されない？

↑読み込みが遅い

バグ？だと思われる

↑表示されない状態が続く

Ajaxコンテンツに工夫

新着情報

タイトル

タイトル

タイトル

タイトル

新着情報

何度でもリロードされたりも
読み込みが遅いと中身が表示されない状態が続く

Ajaxコンテンツツ

新着情報



Ajaxコンテンツ

demo

新着情報
読み込み中だということを
視覚的に伝えるため
loadingイメージなどを入れておく

ポイント

時間がかかっていることを

視覚的に伝える

(画像でもテキストでも)

例3 : JavaScript OFFに優しく

タブの中身が一瞬見える！？

demo 1

- タブやアコーディオン等

JavaScript内で非表示指定をしている場合

DOMの完了まで実行されないので

一瞬中身が見えてしまうことが(よく)ある

DOM完了前にCSSだけ準備

サンプルコード

```
var style = document.createElement("link"),
    head =
document.getElementsByTagName('head')[0];

style.type = "text/css";
style.rel = "stylesheet";
style.href = "css/jsStyle.css";
head.appendChild( style );
```

JavaScriptでの操作用CSSを
別途用意し、JavaScriptで
CSSを読み込むタグを追加

参照サイト

THE HAM MEDIA

『JavaScript環境に優しく？ その2』

<http://h2ham.seesaa.net/article/>

[142566088.html](http://h2ham.seesaa.net/article/142566088.html)

例4：OFF環境の人への注意文

JavaScript OFFの環境用に

- JavaScriptで実装したサイトの場合
JavaScript OFF環境の人には
どうしても対応できないケースも有る

ちょっとした注意文を表示

DOM完了前のCSS追加で

- JavaScriptがONの場合には非表示にする
それを利用してOFF環境の人だけに見せる
文をページの上部などに準備しておく

OFFだと一部コンテンツが
使えないことを明示する文を
いれておくなど配慮しておく



まとめ

まとめ

Webサイトの使いやすさを考える

ちょっとした気遣い・優しさ

誰が使うのかを考えて

まとめ

プラグイン利用時は

実際に導入する前に、まずは試してみる

- HTML変更なしに導入できるかどうか
- 他のプラグイン・CSSに影響はないか
- 動作は大丈夫か？

まとめ

動作チェック

さまざまな環境でもバグはないか？

(問題なく利用できるか？)

- 各ブラウザ
- ページを戻した時
- JavaScript OFFの時
- 画面サイズなど



ご清聴ありがとうございました

